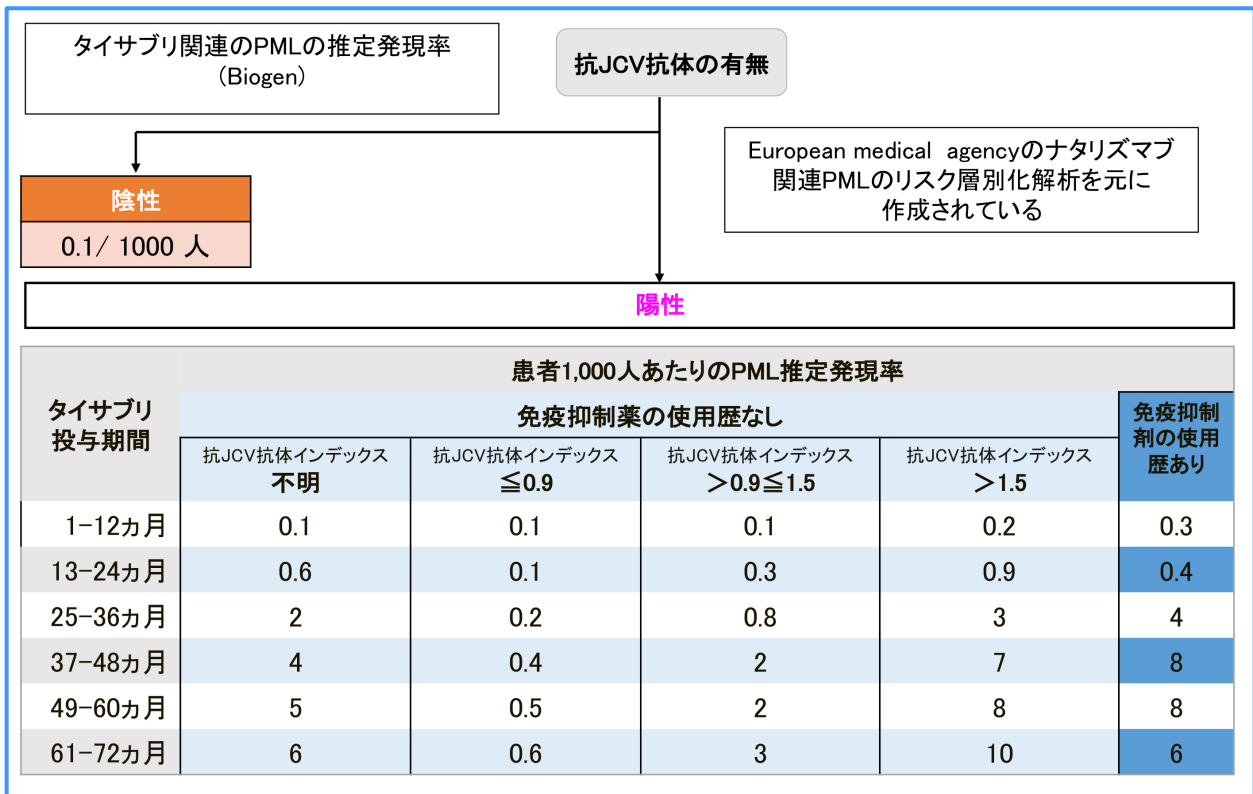


## 進行性多巣性白質脳症(PML)診療, 1年間の進歩 - 薬剤関連PMLを中心に -

研究分担者: 佐賀中部病院 神経内科 雪竹基弘



フィンゴリモド関連 PML (海外の1例以外は症候性PML)

### 海外のフィンゴリモド関連 PML (5症例)

年齢	49-59歳
治療期間	30-54カ月
リンパ球数	どの症例も 200/ mm <sup>3</sup> を下回らず
臨床経過	全員生存

### 国内のフィンゴリモド関連 PML (2症例)

	症例1	症例2
年齢, 性	63歳, 女性	34歳, 女性
治療期間	29カ月	約48カ月
リンパ球数	127-580/ mm <sup>3</sup>	160-600/ mm <sup>3</sup>
臨床経過	生存	生存

なお, 2017年2月現在, 海外例が8例となり1名死亡, 国内例は3例で合計11例となっている。

これらの研究は「診断基準・重症度分類策定・改訂のための疫学調査」に当てはまる。

## 解説

- 2016年に本邦でもナタリズマブ関連PMLが発生した。ナタリズマブ(タイサブリ)関連PMLの推定発現率は2016年に更新された。
- 2016年はフィンゴリモド関連PMLも本邦で複数例発生した。